

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年8月15日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	29週	30週	31週	32週	警報レベル		注意レベル
	7月15日～7月21日	7月22日～7月28日	7月29日～8月4日	8月5日～8月11日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	0	0	0	0	30	10	10
新型コロナウイルス感染症#	28 9.33	22 7.33	44 14.67	62 20.67	-	-	-
RSウイルス感染症	0	0	0	0	-	-	-
咽頭結膜熱	0	0	0	0	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3 1.50	1 0.50	0	1 0.50	8	4	-
感染性胃腸炎	0	6 3.00	1 0.50	4 2.00	20	12	-
水痘	1 0.50	4 2.00	2 1.00	1 0.50	2	1	1
手足口病	9 4.50	55 27.50	54 27.00	29 14.50	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	1 0.50	3 1.50	1 0.50	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	4 2.00	12 6.00	13 6.50	2 1.00	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	-	○	-
備考		新型コロナウイルス感染症	

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所より

【 定点把握対象疾患 】

- ・新型コロナウイルス感染症は増加しました。
- ・感染性胃腸炎は増加しました。
- ・水痘の発生は継続しています。
- ・手足口病は減少しましたが警報レベル継続中です。
- ・ヘルパンギーナは収束基準まで減少しました。

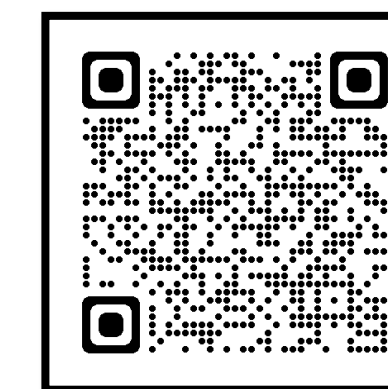
【 集団発生情報 】

新たな集団発生はありません。

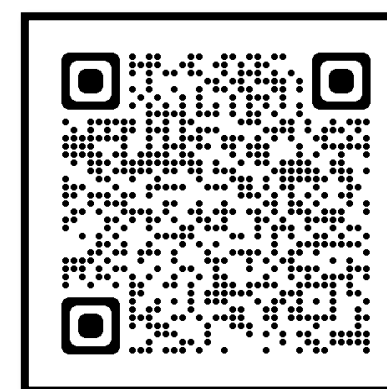
【 感染症コラム 】

～腸管出血性大腸菌(毒素産生型)～

- ・ベロ毒素を産生する大腸菌の一種で、下痢、腹痛、嘔吐、発熱等の症状を引き起こすことがあります。
- ・人から人、食材・食品(生肉)を介して感染し、食中毒の原因となることもあります。
- ・感染すると、溶血性尿毒症症候群(HUS)と呼ばれる合併症を引き起こすことがあります。HUSは、貧血、血小板減少症、腎不全などの症状を引き起こすことがあります。
- ・治療は対症療法で、適切な水分補給や栄養補給です。
- ・腸管出血性大腸菌は加熱や消毒により死滅するので、生肉を使った肉料理を避けること、肉の中心部まで十分に加熱して予防しましょう。また、二次感染予防として、飲食前やトイレ後の手洗いが重要です。
- ・3類感染症に指定されているため、診断した医師は速やかに最寄りの保健所まで発生届の提出をお願いします。



感染症情報 ←



← 感染症検査

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>